

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
古典探究	前期	2	3年次	選択	12	3	6
	後期	2			12	3	6
使用教科書	東京書籍 701 新編古典探究						
科目の概要	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典について探究心を持って関わることによって人生を豊かにする態度を育てます。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・宇治拾遺物語 ・十訓抄 ・徒然草 (P10～P28)		○古語の尊敬語・謙譲語を判別でき、現代仮名遣いにできる。 ○係助詞による結びの語形の変化が判別でき、古文の比喩表現が理解できる。 ○文章の論点を比較し、自分の考えを表現することができる。		前期 1・2	No.1	
	・方丈記 ・竹取物語 ・小倉百人一首の世界 (P29～P52)		○指示語の指す部分を指摘でき、筆者のテーマを理解できる。 ○比喩表現、古典文法を理解できる。 ○定められた文字数で指定の視点から文章が書ける。		前期 3・4	No.2	
	・土佐日記 ・更級日記 ・平家物語 (P54～P74)		○月の異名を理解し、文脈から指示語の指す内容を説明できる。 ○古文中の洒落た言い回しを理解し、同一の単語を含む古文の違いを説明できる。 ○登場人物の心情を把握、古典文学史、時代装束の知識がある。		前期 5・6	No.3	
	・世間胸算用 ・おらが春 ・枕草子 (P76～P92)		○近世文学の文体を掴み、文章から庶民の生活を知る。 ○登場人物の人柄を把握し、地の文に含まれた表現技法に気づく。 ○漢詩の引用を読み解き、動作主による敬語の使い分けや婉曲表現を理解する。		前期 7・8	No.4	
	・伊勢物語 ・大和物語 ・大鏡 (P94～P116)		○平安貴族の生活慣習や習俗を知り、和歌の表現技法の理解を深める。 ○現代語の意味と異なる古語の知識を広げ、指示語の指す内容を答えられる。 ○和歌から文中の内容を把握し、背景、作者の心情が説明できる。		前期 9・10	No.5	
	・袋草紙 ・無名抄 ・古今和歌集仮名序 ・源氏物語 (P118～P138)		○当時の歌仙と呼ばれた人の歌論を知り、歌合とは何かを理解する。 ○物語の背景を把握し、登場人物の言動を深く理解する ○和歌を通して「表現」を考察し、その利用と効用を説明できる。		前期 11・12	No.6	
	・近世俳句抄 ・去来抄 ・三冊子 ・古事記 (P140～P156)		○著名な俳人の特性を把握し、俳人の師弟関係と指導について理解する。 ○詩歌連俳の違いを把握し、俳句の視点について考察する。 ○日本の神話伝承への理解を深め、平安以前の古語知識を深める。		後期 1・2	No.7	
	・小話四編 ・唐詩八種 ・文二編 (P158～P180)		○故事成語の知識を深め、正しく使用できる。 ○返り点を正しく処理し、正確な書き下し文が書ける。 ○漢詩のルールを理解し表現技法を把握する。		後期 3・4	No.8	
	・項羽と劉邦 ・寓話五編 (P182～P206)		○「史記」と故事成語の関係を知り、思索を深める。 ○禁止・二重否定の句法を学び、古代中国の政治と法律について把握する。 ○中国の戦国時代の思想家とその思想の概要を理解する。		後期 5・6	No.9	
	・十八史略 ・小説三編 (P208～P226)		○訓読する際の注意する語句を学ぶ。 ○返り点の多い文章を正確に書き下し文にする。 ○当時の庶民の暮らしや政治を知り、登場人物の心情を理解する。		後期 7・8	No.10	
	・古体詩一五首 ・廉頗と藺相如 (P228～P248)		○古体詩と歌の関係を知り、近体詩と古体詩の相違点を学ぶ。 ○日本の古典文学に影響を与えた原点を知り、時代と国を隔てて共感を得ることを学ぶ。 ○語句の表面的な意味だけでなく、その内容を深く理解する。		後期 9・10	No.11	
	・儒家と道家 ・詩二首 ・信玄と謙信 (P250～P270)		○孟子の唱える「人としてどうあるべきか」を学ぶ。 ○日本人の漢詩の素養を把握し、主題を掴み、比喩を理解する。 ○漢文中の指示語の指す内容を的確に理解し、心情表現を説明できる。		後期 11・12	No.12	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・3年次で4単位修得します。						